

クラス	Q306	担当教員	小平 英志
テーマ	パーソナリティと適応、精神的健康		
著書・論文 研究課題等	(著書)『生きがい感:「自分探し、生きる」とは?』 松島公望・橋本広信(編) ようこそ! 青年心理学ー若者たちは何処から来て何処へ行くのか, 第9章、2009年、ナカニシヤ出版 他 (論文)『高校生における仮想的有能感と学業に関するコミュニケーション』 心理学研究 79 巻、2009年、共著／『大学適応の階層性に関する検討ー保育系短期大学生を対象にー』 子ども発達学論集、3号、2011年 他 (最近の研究課題) 青年期の自己概念、他者軽視傾向、動機づけ、児童期の授業行動		
ゼミナール概要			
キーワード: パーソナリティ、適応、精神的健康、青年期			
ゼミの目的 元気そうに日々を送っている人でも、上手くいかず悩んだり、苦しんだりすることはたくさんあります。まさに「人生は綱渡り」であり、風が吹き荒む中、我々はバランスを取りながら、何とか綱を渡って生きてきたわけです。では、人はそれぞれどのような方法で、そのバランスを取ろうとするのでしょうか。 環境へと適応していく様には個人差があり、その独特の調整の仕方を決めているのがパーソナリティ(人格、性格)です。パーソナリティは、人を生きやすくし、また生きにくくします。ゼミでは、「適応」と「精神的健康」の2つをキーワードとして掲げ、現代において、人が外的・内的環境に適応し生きていく上で必要なものは何なのかを、パーソナリティの視点から検討を行います。抽象度・自由度の高いテーマですので、まずはひとりひとりの身近な出来事や事例、素朴な疑問から出発し、最終的には学術的研究の形にしていきます。 方法 心理学の研究のスタイルや論の展開、証拠の示し方などを理解した上で、実際に自分の興味を基に研究を実施します。実証的な方法(調査法・観察法・面接法・実験法等)を中心に研究を進め、卒業論文に向けたスキル・アップをめざします。同時に論文作成や統計的検定についてもトレーニングをします。 授業計画 まずは学術論文の読み方から始める予定です。文献を読み、研究の方法や論文の書き方を理解した後、実際にデータを収集し研究を行います(3年次はグループ研究を予定)。お互いに研究の進捗状況を報告したり、議論したりする機会を設け、多くの構成概念と研究に触れていきます。3年次の終わりには、各自、最も興味のあるテーマへと絞り込んでゆき、卒業研究の企画を行います。4年次にはそれぞれのテーマに従って個人研究を進め、最終的に卒業論文としてまとめていきます。			
担当教員からのメッセージ			
・ゼミのスローガンは「がつつり、どっぷり心理学」です。心理学の証明の方法や説得の仕方は、卒業後にどのような道に進む上でも役立ちます(少なくとも担当教員はそういうふうと考えて教えています)。 ・人の心理について深く考えたり、友達と真面目に議論することができるゼミをめざしています。知的な発想や発見を生む雰囲気全員で作っていきましょう。心について議論したい人、大歓迎です。 ・3年生の前半は論文や研究を理解するトレーニングの時間になります。いくつかの課題をこなしてもらう予定ですので覚悟しておいてください。手間を惜しむ人や面倒くさいのが嫌いな人にはつらいゼミになると思います。 ・3年生と4年生で積極的に交流をしていく予定です。先輩・後輩達の関心や研究内容を知ること、心理学的研究の知識を深めていって欲しいと思います。			